

患者さんおよび患者さんのご家族の方へ

このたび当院では、以下の臨床研究を、滋賀県立総合病院倫理委員会の承認を受け、かつ病院長の許可のもと実施いたしますので、ご協力をお願ひいたします。

本研究の対象者に該当する可能性がある方やそのご家族の方で、ご質問がある場合、またはこの研究への参加を希望されない場合は、下記の担当者までご連絡ください。なお、本研究への協力を拒否されても、今後の治療を受けるうえで不利益が生じることはございません。

【研究課題名】

超解像技術を用いた Deep Learning Reconstruction(SR-DLR)と 0.5 mmSR モード併用の頭部 CTA における脳血管描出能の検討

1. 研究の意義・目的

頭部 CTA は頭蓋内脳動脈病変の精査などを目的に行われ、手術支援画像として穿通枝のような微細な血管の描出を必要とされる場合がある。近年、deep learning reconstruction(DLR)が様々な部位で活用され、頭部 CTA においても脳血管の細動脈描出への有用性が報告されている。また、超解像技術を用いた DLR(SR-DLR)による冠動脈 CTA において冠動脈の描出能向上が報告されているが、脳血管描出能については明らかにされていない。本研究の目的は、SR-DLR と 0.5 mmSR モード併用(実効スライス厚を最小にする機能)の頭部 CTA における微細な血管の描出能への影響について明らかにすること。

2. 研究方法

頭部 CTA を撮影する患者データに対して、通常の再構成画像に SR-DLR と 0.5 mmSR モードの再構成を追加で行い脳血管描出について評価を行います。そのため、通常の画像では得られなかった新たな臨床情報が得られた場合には、主治医から説明させていただくことがあります。通常(従来)の画像を作成し、追加で今回の臨床研究の画像を作成しますので、画質や被ばく線量、造影剤量が変わることはありませんので、安心して検査をお受けください。

3. 対象となる方

当院の CT1 室(Aquilion ONE NATURE)で頭部 CTA を行った患者

4. 利用する試料・情報

頭部 CTA のデータを用います。

5. 研究期間

(始期) 械理員会承認日

(終期) 2026年 6月 30日

6. 個人情報の取扱い

本研究で用いるデータは当院の 3D 画像ワークステーション内のサーバーにて保管し、通常の画像との比較に用います。本研究により有用性が示された場合は学会などで発表することがあるかもしれません、その場合には個人が特定されないように匿名化した情報のみを用います。また、匿名化されていない情報は、通常の診療に用いる画像と同様に院外に持ち出されることはありません。

7. 費用および謝金等

新たに費用は発生せず、謝金もなし

8. お問い合わせ先

滋賀県立総合病院 放射線部 主査 北野哲哉